

対象疾患	非小細胞肺がん
使用する治験薬	アテゾリズマブ（PD-L1 阻害剤）〈注射薬〉
治験デザイン	<p>第Ⅲ相試験</p> <p>A 群：アテゾリズマブ＋プラチナ製剤をベースとする化学療法</p> <p>B 群：プラセボ＋プラチナ製剤をベースとする化学療法</p> <p>※ 上記の治療を、術前補助療法として受けることになります。</p> <p>※ 医師や患者さんがどの群の治療を受けるかは選択できませんが、A 群または B 群の治療を受けることになります。</p> <p>※ 「プラセボ」とは、治験薬と色や形が同じですが、有効成分は入っていません。プラセボと治験薬をそれぞれ使って、治験薬による効果と、プラセボを投与したことによる心理的な効果を比べて、治験薬が本当に有効なものかを客観的に評価します。</p>
参加いただける患者さんの条件	<p>以下の条件を満たす方が対象となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 文書により同意できる 2) 18 歳以上である 3) 切除可能な非小細胞肺がんと診断されている 4) 全身状態が良好で、肺、心臓、血液、腎臓、肝臓などの機能が保たれている 5) 過去に採取した腫瘍組織の生検検体を使用できる、又は治験の要件を満たす腫瘍組織がない場合に生検を実施できる <p>※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。</p>
治験責任医師	呼吸器内科 笠原 寿郎
治験依頼者	中外製薬株式会社
備考(企業 HP 等)	<p>https://www.chugai-pharm.co.jp/ptn/trials/detail/index.html?devId=27</p> <p>→「切除可能な II, IIIA, 又は一部の IIIB 期の非小細胞肺癌患者を対象に、プラチナ製剤をベースとする化学療法との併用におけるアテゾリズマブ術前補助療法の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相二重盲検多施設共同ランダム化試験」</p>